

 J.A.D.E	<h1>ふくりゅう</h1>	特定非営利活動法人 日本下水文化研究会会報
		発行責任者 稲場紀久雄(運営委員会代表) 編集担当 酒井彰(事務局長) 令和元年10月22日 通巻97号

ふくりゅう 97号 目次

第15回下水文化研究発表会プログラム	1
速報:「台南山上花園水道博物館」の開館式典に本会代表団が参加	3
地球環境基金助成プロジェクトの現場より	4
お知らせ:近代化遺産全国一斉公開2019実施中	6
運営委員会だより/編集後記	6

第15回下水文化研究発表会プログラム

第15回下水文化研究発表会のプログラムをお知らせいたします。研究発表へは、口頭発表11編、誌上発表3編の応募がありました。たくさんのご応募ありがとうございました。口頭発表は、3つのセッションに分かれて行います。(次ページ参照)

記
日時:11月30日 10:00~17:30
場所:新宿区NPO協働推進センター
(新宿区高田馬場 4-36-12:地図参照)

会場受付 (501)	9:30
開会	10:00
開会挨拶	代表 稲場紀久雄
来賓挨拶	
授与式 (1)バルトン感謝状 稲永丈夫氏	谷口尚弘特別委員
(2)名誉会員称号授与	稲場代表
受賞者挨拶 (稲永氏、西堀清六氏ほか名誉会員授与者)	
NPO法人20周年記念シンポジウム(1)	予定時間 11:00~12:30
「今改めて下水文化を問う~下水文化の過去・現在・未来」	
要旨:本会は33年前、設立趣意書に「下水文化は、水文化の基層をなす(略)今後下水文化の単純化が進めば、水文化の退廃化は免れぬ(略)。このため、(略)下水文化の調査研究を行う」と謳った。更に20年前、趣意書を改訂し、「個人と下水との成熟した付き合い方を下水文化」と定義し、「新たな問題意識の下で、これらから市民と下水との付き合い方を創造していく」と誓った。NPO法人20周年に当たり、本会の活動を振り返り、将来の方向性について議論する。	
[コーディネーター]谷口尚弘 [パネリスト]稲場紀久雄、酒井彰、高橋邦夫、渡辺勝久、	
研究発表会(詳細は次ページ)	予定時間 13:15~15:30
バルトン記念論文賞授与	海外技術協力部 酒井 彰

NPO 法人 20 周年記念シンポジウム（2）

予定時間 15:45～17:15

「健全な水循環再生と上下水道事業の役割」

要旨：本シンポジウムでは、流域水循環の現状において、不健全と言える状況とは何か、その原因、結果としてもたらされている弊害について明示する。それを踏まえ、流域社会と流域水循環の望ましい関係性構築に向けて、流域レベルでの水循環を再生していくうえでの、上下水道事業ならびに市民を含めた関係者の役割分担について、最近話題となっているいくつかの事例を通して議論する。
[コーディネーター] 酒井彰 [パネリスト] 稲場紀久雄、田中宏明（京都大学大学院）、野村喜一（株式会社日水コン会長）、渡辺勝久

閉会挨拶

副代表 渡辺 勝久

終了予定 17:30

研究発表<口頭発表>

予定時間 13:15～15:30

第 1 セッション「水文化史」 会場 501)

座長 照井 仁

① 稲場紀久雄	大阪経済大名誉教授	バルトン先生の水道水源調査とその背後にある考え	13:15～13:45
② 熊谷 彰	バルトン研究会	コナン・ドイル文書再公開で明らかになったドイルとウィリアム・バートンの友人関係	13:45～14:15
③ 谷口 尚弘	日本下水文化研究会	「創世記」に見る水問題	14:15～14:45

（第 2 セッション「水文化研究」 会場 101）

座長 中西 正弘

① 山崎 達雄	京都府大文学部研究員	平安遷都千百年祭と公衆トイレの公営化	13:15～13:45
② 松岡 隆文		黎明期の活性汚泥法の伝播	13:45～14:15
③ 清水 康生 下平由美子	日水コン	「水辺へ Go!」の開発とその活用について	14:15～14:45
④ 佐藤 英雄 佐藤 鷹介	川と水辺を楽しむプロジェクト	「あっ、この石 動く!」—川で遊ぶ、学ぶ、憩う— “自然体験活動講座” で楽しむ	14:45～15:15

（第 3 セッション「海外水文化・援助」 会場 102）

座長 高橋邦夫

① 武田繁雄、山田雅雄、ヒン・ラチャナー、田口晶一、伊佐治知明、寺田壽	名古屋環未来研究所	カンボジアの中学校を拠点とした住民の生活衛生改善の試み	13:15～13:45
② 山田玲奈 原田英典 酒井彰 Tofayel Ahmed	京都大学地球環境学舎、 京都大学地球環境学堂 流通科学大学 元 JADE Bangladesh	バングラデシュにおけるし尿分離型ドライトイレの利用状況から見る長期的受容可能性	13:45～14:15
③ 菊池春歌 坂本麻衣子	東京大学大学院新領域創生学 学研究科国際協力学専攻	夫婦の衛生知識とジェンダーバランスが衛生的なトイレ導入に及ぼす影響～バングラデシュ農村部の事例～	14:15～14:45
④ 菊池美智子 坂本麻衣子 酒井彰	東京大学大学院新領域創生学 学研究科国際協力学専攻 流通科学大学	都市部貧困層コミュニティ住民における共同トイレ利用行動の関連因子の検討	14:45～15:15

<誌上発表>

① 大沼俱夫	三島自然を守る会	霊峰富士山の地下川を世界複合遺産めざして
② 古賀輝彦	水道顧問技師会	井の頭池の再生
③ 中野忠男	羽生市ムジナモ保存会	埼玉県平野部の地下水揚水による環境影響

新宿NPO協働推進センター案内図

住所: 〒169-0075 新宿区高田馬場 4-36-12
 高田馬場駅徒歩 15 分
 (JR 山手線・東京メトロ東西線・西武新宿線)
 バス・小滝橋 徒歩 4 分
 (都営バス: 飯 64・上 69、関東バス: 宿 02・宿 08)
 TEL: 03-5386-1315

研究発表会に関するご案内とご注意

- 参加は無料です。事前申し込みの必要はありませんが、事務局まで参加の旨お知らせいただければ幸いです。参加者には当日の講演集をご購入（1,000 円）いただきます。（発表者には 1 部進呈）
- 下水文化研究発表会講演集は、会員への無料配布はいたしません。希望される会員は、事務局までお申し込みください。郵送いたします。講演集を受取ってから同封の振込用紙にて代金 1,000 円と送料をお支払い願います。
- 会場敷地内は「全面禁煙」です。また、新宿区内は条例により「区内全域路上喫煙禁止」となっています
- 会場周辺は、食事をするところがあまりありません。昼の休憩時間に会場での食事はできますが、ごみはすべて持ち帰ってください。
- 事務局への連絡は jade@jca.apc.org へ

速報:「台南山上花園水道博物館」の開館式典に本会代表団が参加

台湾最大規模の水道博物館「台南山上花園水道博物館」の開館式典が 10 月 11 日挙行されました。当日の来館者数は約 4 万人を数え、入場規制が行われたほどの盛況でした。

稲場代表が開館式典に招待されたことを受け、本会を代表して稲場代表、渡辺副代表、谷口特別委員他 2 名が式典に参加、稲場代表が祝辞を述べました。

台南の山上浄水場は、バルトン先生と愛弟子濱野弥四郎が基礎調査と基本構想を策定し、先生亡き後その遺志を継いだ濱野が実施設計に当たり、1912 年から 10 年の歳月を費やして 1922 年に竣工、台南市民に生活用水を供給して来ました。水資源に乏しかった台南の今日の発展は、山上浄水場に負うところ大と台南市民は、濱野の業績を高く評価しています。この浄水場は、2002 年県指定遺跡、2005 年国指定遺跡となり、台南市政府が 2011 年から修復計画を進めてきました。水道博物館は、公園緑地、苗圃プロジェ

クトと合わせて整備され、花と緑に包まれた「博物館区」、「花園区」、「森林区」の三つの区域で構成されています。来館者は、博物館で様々な展示と実物の施設に触れ、水の大切さを学ぶと同時に、広い緑の中を散策し、ピクニックを楽しむことも出来ます。

開館式典には黄偉哲台南市長、水道博物館整備に貢献した国会議員陳美伶女史、中央政府高官などが列席しました。稲場代表は、1992 年に発刊した『都市の医師—濱野弥四郎—』（水道産業新聞社刊）の著者として招待され、次のように祝意を述べました。

「博物館は、健全な“水の輪”を結び、“人の輪”を広げ、“生命の輪”を守るために必要です。この博物館が台湾と日本の友好の絆を一層太くすると共に、未来の世代に水の原点を考える施設として末永く大切にされますよう心から祈っています。」

続いて、濱野弥四郎の曾孫濱野靖一郎氏の祝辞が代読され、バルトン先生の曾孫鳥海幸子さんや元参

議院議員の前田武志氏、土木学会、第一線の水道関係者 5 名の祝辞も紹介されました。全て額に収めて展示されています。

博物館の展示は、来場者の心に訴え掛けることに専心したもので、示唆に富んでいました。詳細は、別

の機会にお伝えしたいと思います。本会は、設立当初から博物館の設置に力を入れて来ましたが、今日なお、この点に光明を見出せないでいます。台湾の博物館活動は、私達に重要な示唆を与えてくれているように思いました。

中華民國一〇八年十月十二日/星期六

中華日報

台南綜合 C8

山上花園水道博物館開幕

黃偉哲：工程設施變觀光景點 集教育和景觀於一身 是南市新觀光明珠 歡迎造訪



↑山上花園水道博物館昨日開幕，由市長黃偉哲（中）主持開幕式。（市府提供）

記者黃文鈞／山上報導
山上花園水道博物館十日開館吸引大批民眾造訪，十一日下午由市長黃偉哲主持開幕式，一起見證原台南水道的華麗轉身。接下來兩天連假，黃偉哲邀請所有的市民朋友及國內外遊客前來造訪這座台南近郊的綠色桃花源。

黃偉哲指出，很高興能夠與許多的市民朋友、觀光客一起來見證山上花園水道博物館的開幕。這座地方本是一處工程設施，搖身一變成觀光景點，而且集合教育與景觀於一身，是台南市新的觀光明珠。

黃偉哲指出，古語「飲水思源」，也就是台灣話「吃水靠樹頭」，很感念先人們的努力，讓這地方有乾淨的水源可以用；加上前任市長賴清德、代理市長李孟諤的努力，讓這座地方變身成這座漂亮的觀光景點。

市長強調，市府會持續努力，把山上花園水道博物館經營更好，讓更多台南市民以及來自各地的觀光客都能夠來這裡遊覽、休閒、學習。

山上花園水道博物館主要規劃為「密林區」、「花園區」及「博物館區」。「密林區」及「花園區」除了保留原台南水道園區內本有的豐富自然生態及山上苗圃，透過景觀設計工程，也規劃以綠地、植栽及花園搭配古蹟遺構，形成兼具文化深度與適居環境的整體氛圍，是民衆戶外踏青的好選擇。

昨天參與開幕的有多位昔日市府官員，包括國發會主委陳美伶、內政部長陳宗彦、國發會副主委彭紹博等；立委郭國文、市議員謝長炳、謝長及多位市議員均到場參與。

水道博物館「台南山上花園水道博物館」の開館式典の模様を伝える地元紙、本会訪問団の顔も見える

地球環境基金助成プロジェクトの現場より

海外技術協力部 酒井彰・高村哲

本会が今年度から地球環境基金の助成を受け、バングラデシュクルナ市の都市貧困層コミュニティで新たな生活環境改善を目指したプロジェクトをスタートさせることについては、ふくりゅう 95 号でお知らせしましたが、その後の活動について報告したいと思います。

これまでのも述べてきたことですが、この活動は、これまでの都市貧困層コミュニティでの衛生改善を目的とした活動経験から、ハードな施設導入だけでは、活動の本来の目的である下痢症等のリスク削減には至らないことが、教訓として得られました。目的の達成には、ターゲットになる人々の衛生行動の変容が求められること、その変容のために啓発活動はもちろん必要ですが、それに加えて、手洗い場、そこへの水供給などが必要であることがコミュニティ住民との話し合いなどで分かってきました。

今回のプロジェクトでは、衛生行動の変容を促す

ためにはどのような介入が必要であるのかを明らかにすることと併せて、これまで、貧困層コミュニティや農村コミュニティで懸案となってきた、コミュニティが導入された設備を自主的、自立的に管理し、衛生行動が持続され、衛生的環境が実現されることを目指しています。

採択の内定後、4月に現地を訪れ、プロジェクト対象のコミュニティを選ぶとともに、現地での新たな活動実施体制を整え、地球環境基金に本申請を行いました。対象コミュニティ選択後、コミュニティ住民の衛生行動やその規定要因に関するアンケート調査を行いました。この調査は、啓発活動終了後、導入された設備のコミュニティによる管理が進められるようになった段階、それぞれでも行い、行動変容がどのように進むかを確認していきます。

啓発活動では、下痢症等の感染経路をコミュニティ住民とともに明らかにし、感染を避けるための行

動を自ら考えることを手始めとして、次の段階で、行動変容を妨げている要因を解消するために必要なこと、生活改善に必要なこと、そのために関係者に求めること、さらに自分たちの責任について話し合ってもらいました。

トイレに関わる衛生行動としては、使用後のフラッシュ

と手洗いがありますが、2つのコミュニティにある約10の共同トイレでは、トイレ内に蛇口があるものの、そこへの給水が機能しておらず、住民は近くにある井戸から水を汲んで、トイレに持ち込み、お尻を洗いフラッシュするという具合でした。トイレ近くの井戸は、炊事、食器洗い、洗濯と多用途に使われています。当初、飲み水供給については、意図してはいませんでしたが、一年を通して安全な水を安定的に得られないという状況で、乾季には近くの公的機関にある井戸まで汲みにいきますが、休日には利用できないといった状況や、近くの汚染された河川水の影響も心配されていました。

それらを踏まえ、9月には、我々が約3週間滞在し、どのような介入を行うかについて、住民たちと話し合い、トイレの水周りを改良し、トイレ内に給水できるよ



コミュニティの人たちとの話し合い(フォーカス・グループ・ディスカッション)

うにするとともに、手洗い場を設けること、新たな井戸を掘削することを決めました。前者については、今ある配管やタンクを極力活かし、タンクの位置を少し高くし、その下に井戸水を汲み上げるための小さなポンプを設置することにしました。既存の配管等を生かすことで、予算的には少なく済みましたので、その分飲料水用深井戸を掘ることになっています。現場から水中ポンプ (submersible pump) という提案があり、掘り



コミュニティトイレの水周りの改良

現場観察及びFGDから見てきたこと	改善の方向と実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ● トイレの前のSTWで行われるあらゆる用途の水利用：トイレ（シャワー室）へ持って入る水、炊事、洗濯、食器洗い、トイレ利用後の手洗い ● DTWがある場合は、これに飲み水を汲みに来る人が加わる ● DTWは乾季には使えない場合がある ● トイレ内への配管や給水用タンクはあるが給水システムが機能していない（トイレに持って入るための水汲みが必要になる） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各水利用用途に求められる清潔さに応じた利用場所・水源の分離 <ul style="list-style-type: none"> ➢ トイレ・シャワー室への給水のため、小規模のポンプ設置（既存のタンクと配管で使えるものは使う） ➢ 手洗い場の設置・石鹸の用意 ➢ 飲料水用の深井戸（水中ポンプ付）の新設（各コミュニティ1か所）、貯留タンクと水汲み場の設置、必要に応じた配水

FGD：フォーカス・グループ・ディスカッション、STW：浅井戸（飲料に適さない）、DTW：深井戸

抜き井戸でもないのに水中ポンプが使えるのかと思いましたが、管井戸用の水中ポンプという製品が開発されているということを知りました。

現場で知り得た課題、改善の方向と実施する内容は前ページの表のようにまとめられます。

今後は、トイレの水周りを含めた管理、深井戸からポンプアップした飲料水を利用するに際してのルール、料金の設定、その徴収、故障に備えた貯金などの

会計管理、コミュニティ組織のさまざまなルール、組織メンバーの役割分担などを自主的に決めていってもらいたいと思います。さらに、コミュニティの人たちには、プロジェクトによる介入が機能しているかどうかを確認するため、現地のプロジェクトスタッフとともに、モニタリング方法を定め、モニタリングにも積極的に関わっていただきたいと思います。

お知らせ：近代化遺産全国一斉公開2019実施中

近代化遺産の所在する地方公共団体を中心とした全国組織「全国近代化遺産活用連絡協議会」（略：全近）は、工部省の設立日である 10 月 20 日を「近代化遺産の日」と定めています。

近代化遺産とは、幕末から第 2 次世界大戦期までの間に建設され、我が国の近代化に貢献した産業・交通・土木に係る建造物です。普段何気なく利用している駅舎や橋梁、地場産業の発展の礎となった町工場等身近な存在であり、また近年は観光資源、魅力的なまちづくりの寄りどころとして社会的関心を集めています。

令和初となる今年度は、通算 15 回目の開催となり、「近代化遺産の日」を含む 10 月 1 日から 11 月 30 日にかけて「近代化遺産全国一斉公開 2019」として、全国各地で重要文化財や登録有形文化財を含む近代化遺産等を一斉公開するとともに、近代化遺産等の価値や魅力を広く伝えるためのシンポジウムや展覧会等が実施されています。

ご関心をお持ちの方は、「全近」の WEB サイトで公

運営委員会だより

11 月 30 日の研究発表会、シンポジウムは、新たな運営委員会のもとで行われる最初の主催事業となります。研究発表においても、シンポジウムにおいて

11 月開催の研究発表会・シンポジウムのお知らせを掲載しました。盛会となりますようご協力をお願いします▶半年間の海外技術協力活動について報告させてもらいまし



開されている近代化遺産や催しについて確認し、ぜひ訪問してください。<https://www.zenkin.jp/koukai>

多くの水道施設が登録されている一方、下水道施設の登録はまだ進んでいません。本会の本年度からの活動を通して、下水道関連施設の登録が進んでいくことを願っています。

【写真は、舞鶴市北吸浄水場配水池、外観と内部】

編集後記

も積極的な議論が行われますよう、ひとりでも多くの方の参加を期待しています。関心をお持ちの方にも是非お声がけをお願いします。

た。さまざまな介入が行われていますが、きちんと機能しているところは多くありません。まさに草の根で動くことが裨益につながるのだと思います。（酒井 彰）

特定非営利活動法人 日本下水文化研究会

〒162-0823 新宿区神楽河岸 1-1

東京都ボランティア・市民活動センターメールボックス No.78

e-mail: jade@jca.apc.org

URL: <http://www.jca.apc.org/jade/index.htm>

URL(ブログ): <http://blog.goo.ne.jp/jadetokyo>